

# 会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	1580		
		決裁期日	令和6年7月25日		
名 称	令和6年度第1回安平町地域公共交通会議（兼 安平町地域公共交通協議会）				
日 時	令和6年6月27日（木） 午前・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">午後</span> 1時30分～3時00分				
場 所	安平町役場 総合庁舎（大会議室）				
出席者	<p>[委 員] 14名出席                  [事務局] 政策推進課 山口参事、高橋課長補佐、田中主事</p>				
会議概要	<p><b>【1 委嘱状交付】</b>                  ＊構成組織の人事異動に伴う委嘱状交付を実施。（現地交付3名、後日郵送3名）</p> <p><b>【開会、会長挨拶】</b>                  ＊委員17名中、過半数の出席を確認し会議が成立することを宣言。                  ＊能登半島地震関連によりお亡くなりになられた方々へ哀悼の意をささげるとともに、一刻も早く復旧・復興への道へと始まるよう祈念している。                  ＊令和6年第5回安平町議会定例会にて選任同意で令和10年6月まで副町長再任となった。                  ＊5月下旬から6月上旬の菜の花シーズンにはたくさんの観光者に来訪をいただいた。                  ＊「胆振地方消防訓練大会」がコロナ禍により6年ぶりに安平町で開催された。                  ＊鉄道では黄色線区の問題、バス業界では運転手不足で都市部でも減便が相次いでいる問題など、日本全国でこれまでのサービス・体制が維持できなくなっている現象を目の当たりにしている。改めて、鉄道・バス・ハイヤー、そして自治体がいっそう連携して、守りと攻めの両面から公共交通の共存共栄を図っていく必要がある。                  ＊うまか祭りが7月6日～7日に開催される。まつり期間中JRをご利用いただくと、祭り会場で使える商品券を配布する取組みを行っている。今年は去年より増額して400名分を配布予定である。                  ＊早来地区において地域おこし協力隊員が1名着任し、6/24（月）から月・金・土曜の週3日ではあるが早来地区でのハイヤー営業が再開した。当会議の委員からも後押しいただいたおかげで、隊員が乗るプリウスの購入支援を実現することができた。                  ＊町民も交通事業者も行政も「トリプル・ウィン」の取組みを皆さんのお知恵を借りながら増やしていき、持続可能な公共交通を実現して参りたい。                  ＊本日の会議は議事が4つほどあるので、公共交通の取組みのアイデアやその他お気づきの点があれば、会議の中で積極的にご発言いただきたいと思う。</p> <p><b>【2 議事(1)安平町地域公共交通計画の令和5年度評価について】</b>                  ＊安平町地域公共交通計画の令和5年度評価について、資料P3～5のとおり報告。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">                     Q. 地域おこし協力隊制度活用によるハイヤー運転手の公募実施（2名枠）について、地域おこし協力隊は任期が決まっており期間限定だと思うが、これを活用しながら持続可能な人材を見つけていこうとしているのか。                 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">                     A. 地域おこし協力隊をハイヤー運転手に起用している背景からご説明いたします。ハイヤーは震災の影響を受けて早来ハイヤーが廃業し、のちに追分ハイヤーがその地盤を引き継ぎ営業を再開したものの毎日一万円を切るような営業となり経営が厳しく撤退しました。そのため、3年間の地域おこし協力隊制度を活用                 </td> </tr> </table>			Q. 地域おこし協力隊制度活用によるハイヤー運転手の公募実施（2名枠）について、地域おこし協力隊は任期が決まっており期間限定だと思うが、これを活用しながら持続可能な人材を見つけていこうとしているのか。	A. 地域おこし協力隊をハイヤー運転手に起用している背景からご説明いたします。ハイヤーは震災の影響を受けて早来ハイヤーが廃業し、のちに追分ハイヤーがその地盤を引き継ぎ営業を再開したものの毎日一万円を切るような営業となり経営が厳しく撤退しました。そのため、3年間の地域おこし協力隊制度を活用
Q. 地域おこし協力隊制度活用によるハイヤー運転手の公募実施（2名枠）について、地域おこし協力隊は任期が決まっており期間限定だと思うが、これを活用しながら持続可能な人材を見つけていこうとしているのか。					
A. 地域おこし協力隊をハイヤー運転手に起用している背景からご説明いたします。ハイヤーは震災の影響を受けて早来ハイヤーが廃業し、のちに追分ハイヤーがその地盤を引き継ぎ営業を再開したものの毎日一万円を切るような営業となり経営が厳しく撤退しました。そのため、3年間の地域おこし協力隊制度を活用					

しながら、需要の掘り起こし、人材の育成等を行って、民間事業者に渡したいと考えております。

Q. 施策⑩福祉交通助成の共通回数乗車券の使用期限について、1年間なのか。

A. 1年間である。議事(2)で詳しく説明する予定だが、現状の課題解決のために令和6年度から1年間の有効期限ありに変更した。

## 【2 議事(2)令和6年度の地域公共交通対策事業について】

\* 令和6年度の地域公共交通対策事業について、資料P7,8に沿って説明。(質疑なし)

(補足)

\* 資料P12「助成金でおトクにグループ旅行ができる！」について、今年度は大変好評をいただいている。例年の予算は40万円ほどであるが、現時点で80万円程度(9件、100名程度)のご利用をいただける見込み。事業費を補正して対応をする予定。

\* 資料P13早来エリアのハイヤー協力隊着任について、初日の実績について共有。6月24日の初日は約1万5千円の売り上げ。しかし、一日2万5千円程度の売り上げが無いと人件費も出ないという状況であり、浸透に時間がかかる見込みである。引き続き早来エリアのハイヤー復活や半額助成制度について、委員の皆様にも周知をお願いしたい。

## 【2 議事(3)循環バスに係る地域公共交通確保維持事業計画について】

\* 循環バスにおける地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統補助・国庫補助)の活用に係る事業計画の策定について、北海道運輸局に提出するため、委員に承認を求めるもの。

\* 北海道運輸局の点検を受ける中での軽微な修正・変更については事務局に一任していただく。資料P16,17に沿って説明し承認。(質疑なし)

## 【2 議事(4)安平町地域公共交通協議会の決算及び予算について】

\* 当協議会の令和5年度決算及び令和6年度予算について、委員に承認を求めるもの。資料P18,19に沿って説明し承認。(質疑なし)

## 【3 その他】

(JR北海道より発言)

\* 鉄道利用促進の取組について感謝。国からの支援により黒字であるが、事業としては400億円の赤字である。黄色8線区に対して国から3年間の支援が決定し、3年間で黄色8線区の抜本的改革をするよう監督命令があった。経費削減と地域の利用がカギとなるため、今後も皆様のご協力をお願いしたい。

(あつまバスより発言)

\* ドライバー不足で苦勞している状況。確保に向け自衛官向けにチラシを配布したが、問い合わせが3, 4件入った程度で採用には至っていない。貸し切りバスの仕事はコロナ明けで増えているものの、貸し切りに対応する従業員がおらず、路線バスを維持するのに精一杯という現状である。貸し切りバスの専業者であれば賃金を上げて確保することもできるが、当社は兼業であるためそれも難しく、勤務調整でなんとか路線バスと観光バスを運行している状況。

(追分ハイヤーより発言)

\* 早来エリアのハイヤーが5年ぶりに再開。住民の代表として委員の皆さまが声を上げてくださったことが町の支援をいただけるなどの形として実現につながった。感謝申し上げます。

【閉会】

以上、終了。(15:00)